

令和5年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	60	学 校 名	静岡県立池新田高等学校	校 長 名	中村 正義
------	----	-------	-------------	-------	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	意見
ア	基本的生活習慣を確立するとともに、生徒の自己肯定感や自己有用感を育成する。	他者の話をしっかりと聴くことができる生徒 80%以上	94.6%	A	落ち着いた態度で話を聞いている様子が見られる。良い習慣が身に付いてきている。
		身だしなみを自ら正す生徒 90%以上	94.5%	A	全体的に生徒は自ら身だしなみを整えることができた。継続していきたい。
		自ら挨拶をする生徒 90%以上	89.5%	B	概ね挨拶の習慣が身に付いていると感じる。学校全体として気持ちのよい挨拶ができるようにしていきたい。
		自他の人権が尊重されていると実感する生徒 90%以上	88.4%	B	多くの生徒は自分が尊重されていることを実感しながら生活できている。全ての生徒が実感できるようにしたい。
		健康や安全に関する高い意識を持つ生徒 80%以上	78.9%	B	健康や安全に関して高い意識を持つ生徒が、昨年度と比べて減少した。声かけや意識させる方法を工夫したい。
		朝食摂取率 90%以上	89.3%	B	今年度の調査は、自己申告で行ったため、少し低くなった。引きつづき啓発に努めたい。
		欠席率 1.5%以下 遅刻率 0.8%以下	欠席率 5.1% 遅刻率 1.7%	C	5類移行までのコロナ期間を経て、安易に休む生徒が大幅に増加した。欠席の多い生徒に対する早めのケアを心掛けたい。
		共生・共育から学ぶことが多いと実感する生徒 80%以上	74.2%	B	各種行事において分校の生徒とかかわる機会が増え、おおむね満足できる状況にある。新たな取組を検討したい。
		読書活動を通して心が豊かになったという生徒 80%以上	61.1%	B	全体の数値は低いが約6割の生徒は達成している。環境を整えているが、実態は厳しい。
		年間5冊以上本を読んだ生徒 60%以上	47.7%	B	全体の数値は低いが約半数の生徒は達成している。環境を整えているが、実態は厳しい。

イ	情報端末を活用した授業等を推進し、ICT教育等を通じて基礎学力の確実な定着と主体的に学ぶ態度を育成する。	自らの意志で学習するようになったと実感する生徒 80%以上	45.1%	C	今年度新たに設定した取組で、目標値が高すぎたのかもしれない。半数近くの生徒が主体的に学習するようになったと考えると、十分評価できるのではないかな。
		プロジェクト等のICT機器を活用した授業を行っている教員 80%以上	80.7%	A	一人一台端末としてChromebookを導入してから、ICT機器の活用は年々進んでいる。生徒の成長を促す活用を検討したい。
		観点別評価の実施を通して生徒の学習改善につながる授業改善を行っている教員 80%以上	88.5%	A	授業と評価の一体化が進み、着実に授業改善が進んでいる。今後も継続し、生徒の学習改善につなげたい。
		自分の夢や目標を実現するために努力をしている生徒 80%以上	72.9%	B	進路意識が高まる2, 3年生において肯定意見が多かった。1年生の意識向上をどのように実現するのか工夫が必要である。
		先生は生徒の意見を聞き、引き出そうとしてくれると感じる生徒 90%以上	93.7%	A	観点別評価の実施を通して先生方の授業工夫が見受けられている。それが生徒にも響いている結果である。
		授業に意欲的に取り組む生徒 90%以上	90.9%	A	先生方の授業改善は着実に進んでいる。生徒の学習改善につなげられる工夫を考えたい。
		各種説明会やインターンシップ等の進路指導、行事が十分に行われていると答える生徒 90%以上	95.7%	A	費用対効果を十分に検討した上で、生徒にとってより良い行事が実現できた。次年度に向けて行事の精選をしつつ、この目標値を達成し続けていきたい。
		一人ひとりに適した丁寧な進路指導が行われていると答える生徒 80%以上	88.4%	A	3年部と進路課が定期的に会議を持つことによって、細やかな情報共有、生徒理解ができた。また、チューター制度に代表されるように、全職員の協力を得て、個に応じた指導が実現した。
		生徒主体でしぶき祭や体育大会などの行事が行われていると答える生徒 80%以上	92.3%	A	担任の指導や生徒会の働きかけにより、生徒が主体的に取り組めるようになった。

様式第3号

		学習支援ボランティア定員充足率 100%	100%	A	応募定員は確保することができたが、希望生徒の固定化が課題である。
		池高生チャレンジ&サポート事業申請数 2 件以上	0 %	D	1 件も申請することができなかった。来年度以降は廃止も含めて検討したい。
ウ	地域の企業や行政等と連携しキャリア教育を推進し、社会の一員としての自覚を持ち、自らの進路を切り拓く力を育成する。	地域探究活動を通じて、地元に対する魅力を発見し働くことにやりがいや喜びを感じたことができた と 答 え た 生 徒 が 80%以上	80.8%	A	今年度より、1年生の探究の時間において市役所各課の協力を得て、御前崎市について知る機会を多く設けた。また、2年生のインターンシップではライオンズクラブの協力を得て市内企業で実習をした。
		部活動に積極的に参加する生徒の割合 80%以上	68.9%	B	前年度から値が下がっている。価値観の多様化や教員不足の影響もあると考えられる。
		年 5 回以上、生徒表彰を行う。	3 回	B	各学期の終業式時に実施した。
エ	学校行事や部活動等を通じて、たくましい力や豊かな感性を培う。	芸術鑑賞会を通して心が豊かになったという生徒 90%以上	93%	A	生徒の満足度が高かった。内容の選定に注力したい。
		校内の環境美化に努める生徒 90%以上	93.1%	A	清掃への取組・ごみの持ち帰りはよくできている。ごみの放置をなくすよう継続して指導していきたい。
		相談室が使いやすいと感じる生徒 70%以上	65.8%	B	相談室を利用する生徒の調整を工夫し、使いやすいと感じられる環境づくりや生徒への配慮に努めたい。
		支援を必要とする生徒の事例を共有し、チームで支援を行っている と 実感する教員 70%以上	88.4%	A	引き続き情報を各担当で共有しチームで、生徒の思いに寄り添った支援を行っていきたい。
		防災訓練により避難行動を理解し、防災意識も高まっていると答える生徒 80%以上。	80.8%	A	年 3 回の校内防災訓練を計画・実施することができた(第 3 回は未実施)。

様式第3号

		地域防災訓練に参加したと答える生徒60%以上	34.9%	B	全校生徒を対象とした目標達成はできなかった。訓練が中止、あるいは参加者が限定されている地域が多かったが、参加可能地域での参加率は60%を超えている。
オ	生徒が安全で安心して学校生活を送るための環境を整備し、教職員が心身ともに健康で同僚性を育むことができる職場環境づくりを推進する。	いじめが原因となった不登校0件	0件	A	いじめが原因となったものは無いが、人間関係の悩みからの不登校生徒はいた。保健課と相談室の連携を強化し支援したい。
		先生を信頼する生徒70%以上	82.2%	A	前年度以上の水準を達成することができた。今後も指導と支援の両輪を大切にしたい。
		重大な交通事故0件	0件	A	重大な事故はなかったが、交通指導切符を切られる生徒が一定数おり、注意喚起する。
		一日体験入学、オープンスクール、学校説明会での中学生、保護者の満足度90%以上	99.2%	A	前年度の反省を生かし、準備・運営ができた。生徒の発表が好評であった。
		施設・設備は安全に管理され使いやすく整備されていると答える生徒の割合80%以上	80.8%	A	日常的な点検や委託業者による施設設備点検結果に基づき、不具合箇所について危険度・緊急度の高い箇所から修繕を行った。大規模に修繕が必要な箇所については継続的に県への予算要求を行い、改善を図っていく。
		P T A総会出席率50%以上	46.7%	B	P T A組織への理解を促す必要と、入会を含めた組織の在り方を検討していく。
		P T A活動は生徒のためになっていると答える保護者・教員70%以上	保護者：87.4% 教員：100%	A	活動内容を縮小したことが、保護者の負担軽減につながり、円滑な活動ができた。イベント事に関しては、積極的に参加してくれる保護者の協力を得ることができた。
		地域貢献、地域活動に何らかの形で参加する部活動の割合80%	60.7%	B	毎週の朝清掃や地域交流などに参加する部活動は多いが、目標値に及ばなかった。シーバインズとの連携も視野に入れていきたい。

カ	地域に愛される「池高生」、地域と連携・協力する「開かれた活力ある学校づくり」を推進する。	進学後も含め、「将来は地元で地域貢献したいと考える生徒」の割合 80%以上	65.8%	C	総合的な探究の時間や、グローバル・ハイスクール事業を通じて地域連携についての行事を行ってきたが、目標値には及ばなかった。学校だけでなく、地域社会全体の問題として捉える必要がある。また、「地元」とはどこまでの範囲を指すのか、「地域貢献」の具体例が生徒にとって理解し辛いことも影響しているのではないかな。
		本校の広報活動等が学校選択の際の参考となったと答える新入生 80%以上	76.5%	B	学校生活を紹介する学校HPの更新や池高 TIMES の発行等により一定の効果を上げている。一日体験入学やオープンスクール、学校説明会も好評であった。
		監査指摘事項 0 件	0 件	A	監査における指摘事項は 0 件で、適正に事務処理が行われた。事務の適正執行に努めていく。
		職員室施錠時間 20 時 30 分以前	平均施錠時刻 20 時 50 分 (8 月を除く)	B	昨年度よりも退勤時間が 18 分程度遅くなった。働き方改革を一層推進し、職員の健康管理に留意する必要がある。
		県実施調査のストレス値（学校全体）が県の平均値を下回る。	ストレス値 県平均 85 本校 88 (全国平均 100)	B	ストレス値が県平均を若干上回った。生徒指導の増加等が考えられる。今後は教職員個別の勤務状況の把握に努めていく。